

福島原発事故汚染水問題



膨大な数の汚染水タンク群

「膨大なタンク中にはセシウム、ストロンチウムが残留している」

公開で「水質検査すべきだ」「アルプスに浄水能力は無い」と、私は度々発言してきました。

「心ある研究機関」から、ご希望が有れば、我々が知り得た技術の全てを無償で提供します。政治的に関わる機関とは、一切、お付き合いできません。私は国難に少しでも役に立てばと思っています。

東工大研究チームの実証詳細数値データを公開します。何れ全資料を公開します。

何度でも言います。安易に海洋投棄はしないでください。

どうしてもと言うなら、経産大臣、菅総理「全責任は自分が負う」と、国民に向かって、断言してください。

磁性体凝集結合ポリマー性凝集剤 と 紺青を用いたCS回収実験

《研究機関》

東京工業大学 原子炉工学研究所 科学グループ

2011年6月14日現在

使用薬剤		
種別	製品名	備考
磁性体凝集剤	PG-M	POLY-GLU社 製
凝集剤	イオンアクションNP	
吸着剤	紺青	
実験方法		

- ① 2種類の実験サンプルを用意する。
 サンプルS : Csイオン濃度10ppm・10ml
 サンプルB : Csイオン濃度1ppm・1.2L or1.3L
- ② 使用薬剤を配合比を変えて準備する。
- ③ ②を①に添加して振盪攪拌する。
- ④ P,プレフィルター
 M, 0.45μmメンブレン
 D, 0.45μmディスポーザブル吸引濾過装置を用いて吸引濾過
- ⑤ 濾過後ICP-MSを用いてCs濃度を測定。

サンプル B に対する試験結果		攪拌30min	静置25min
実験番号	濾過方法	配合	Cs 除去率%
0049	M	F12I1.2P6	98.93
0050	P	F12I1.2P6	99.32
0051	P	F13I1.3P6.5	98.52
0052	D	F13I1.3P1.3	99.24

サンプル S に対する試験結果		振盪1.5h	静置3h
実験番号		配合	Cs 除去率%
0007		F100P50	99.4
0008		F100P100	99.8
0009		F100P200	98.4

F:紺青 I:イオン P:磁性体凝集剤 添字数字はg数

